



福岡ファミリーハウス通信

34

2024. 06

代表あいさつ

NPO法人福岡ファミリーハウス代表理事 高原 登代子

このたび2000年9月に立ち上げた任意団体「福岡ファミリーハウス」を2023年度末で解散し、2023年12月に認証された「NPO法人福岡ファミリーハウス」がその活動、及び財産を継承し、現在のハウスを維持しながら持続可能で設備の整ったファミリーハウスの開設を目指して活動を進めていくことを理事会、総会において決議しましたことを報告させていただきます。

多くの皆様のご協力で、この間一度の事故も無くハウスを維持出来たことは、団体の誇りでもあります。しかし、私たちの力量不足もあり未だ九州大学病院近くに小児専用のファミリーハウスの整備には至っていません。私たちは長年の活動を通して、命に関わる病気と闘う子どもと家族にとってファミリーハウスはなくてはならないものだと確信しています。国においても子どもの付き添い入院における家族の環境改善の取り組みが今年度より始まりました。過酷な付き添い入院の実態によりよく目が向けられたことを嬉しく思うと同時に、そこに安心して休める場所としてファミリーハウスの必要性も認知されていくことを切に願うところです。

また、2020年度～2023年度の休眠預金活用事業（原田積善会）に「NPO法人福岡子どもホスピスプロジェクト」とコンソーシアムで採択頂き、当会においてはアンケート調査や活動冊子作製、他団体視察等を助成頂きました事を報告し、心より感謝いたします。尚、この事業をきっかけに「NPO法人福岡子どもホスピスプロジェクト」との将来的合併も模索しましたが、活動の方向性や開設希望場所などの違いから合併案は解消し、それぞれでの道を進むこととなりました事も併せて報告させていただきます。

どうぞ新たな歩みを始めます「NPO法人福岡ファミリーハウス」に変わらぬご支援、ご指導を頂けますよう心よりお願い申し上げます。

任意団体の解散にあたり、徳永和夫前代表より発足時の思い出を寄稿いただきました。

「月足さんご夫妻」 福岡ファミリーハウス前代表 徳永 和夫

1994年2月に東京の「愛の家」（現・認定特定非営利活動法人ファミリーハウス）の事務局長を呼んで、病院近くで患者とその家族が宿泊できる施設の運営について話してもらいました。そしてこの話をきっかけに翌年の春、篠栗町の月足さんという女性が私に連絡を下さいました。自身も千葉に住んでいた時は、ご主人の見舞いに築地のがんセンターに通った経験もあり、「愛の家」のような施設のために2000万円を使えとのご主人の遺言を実現したいと願って私に会いに来られました。

月足さんと二人で九州がんセンターの近くに「愛の家」として使えるような物件を探してもらい、丁度がんセンターからすぐの所に福岡市住宅供給公社がマンションを建築中だったので早速2LDKの一室を契約してもらいました。不特定多数が出入りするのでは入居者から苦情が出るなどという理由で新聞やテレビなどでの報道は禁じられ、運用資金や物品の寄付もままならないまま9月から部屋を改造し3部屋に、備品を整備し1995年の11月から利用を開始しました。

福岡ファミリーハウスが今あるのは、月足さんご夫妻のおかげだと感謝しております。

決算報告

(任意団体)

2023年度施設稼働率・利用者数

	部屋数	施設稼働率	利用者数
シバタハウス	3	90%	1,385
ぼっぼハウス	1	24%	208
コスモスハウス	1	24%	263
合計	5		1,856

2023年度決算

収入	
ハウス利用料	843,000
寄付収入	2,749,626
助成金収入	306,645
ミールプログラム	360,000
補助金収入	210,000
バザー収入	69,308
預金利息	40
収入計	4,538,619
支出	
ハウス事業費	
通信費	74,022
消耗品費	237,998
衛生費	86,173
賃貸料	541,310
ガス代	205,337
電気代	207,403
水道代	118,538
支払手数料	16,890
保険料	74,245
事業費計	1,561,916
事務局管理費	
給料手当	1,080,000
旅費交通費	63,010
通信費	58,084
消耗品費	178,437
修繕費	1,100
印刷費	13,835
支払手数料	5,578
利用助成費用	50,520
保険料	4,720
ミールプログラム	269,270
管理費計	1,724,554
支出計	3,286,470
合計純損益金額	1,252,149
※ 繰越金	6,980,420

会計監査

釜根隆司



事務局退任あいさつ

木谷 登志子

2018年より福岡ファミリーハウスの事務局を務めさせて頂きました木谷と申します。この度2024年3月末で事務局を退任致しました。

2018年はシバタハウスプロジェクト後で、事務局が3人体制でスタートした年です。何もわからない中、刀根さんと久木田さんと3人で試行錯誤しながら楽しく活動してまいりました。

在任6年間には述べ10,000人以上の方にハウスをご利用して頂きました。九州一円・沖縄・山口・広島、遠くは関東や海外からのご利用もあります。

私は会計全般担当ですので、寄付関係や利用料金の確認作業をしておりました。お礼状は延べ1,096通送付させて頂きました。寄付の振込用紙に「いつも応援しております」「少しですが役に立てれば幸いです」「素晴らしい活動です。頑張ってください」等、たくさんのコメントをご記入頂き、スタッフ一同元気をもらえました。ありがとうございました。

事務局は退任致しますが、これからもボランティア活動は参加させて頂きますので、今後ともよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、日頃よりご支援頂いている皆様、ボランティアの皆様、大変お世話になりました。

皆様のお心遣いに心より感謝申し上げます。

(スタッフより)

8年間にわたり、丁寧で正確なお仕事ありがとうございました。お疲れ様でした。



※任意団体の繰越金は、2024年5月28日の第75回理事会においてNPO法人福岡ファミリーハウスに寄贈することを決議致しました。

寄付者一覧

(2023年4月～2024年3月・敬称略)

今年度も多くの方々にご支援、ご協力いただきました。ありがとうございました。

花鶴福岡ライオンズクラブ	柳井 康子	高橋 信之	大塚 悟史
SHIPS	生野 茅子	赤星 和子	高木 明子
(一社)九州住宅産業協会	岩崎 けい子	栗須 由紀子	中垣 一史
宗教法人日本聖公会東京教区	ダニヤアルカディオ	河野 泰子	陽田 光子
(有)松田住宅機器	徳永 勝正	熊谷 保広	佐藤 郁乃
(有)加茂藤刃物	緒方 理恵子	佐藤 正隆・容子	ナカシマ ケンタ
かづる鍼灸整骨院	梅根 眞知子	迎 朝子	齋藤 秀司
レモネードスタンドinふくおか実行委員会	横山 司	三室戸 多美子	塩川 渚
伊比 京子((有)桃のはな)	堀 美和子	光武 美紀	堀 大藏
山内 玲子(元岡幼稚園ひまわり会・会長)	桑本 美智子	柏原 悦	池末 貴子
鮎川 浩志(あゆかわこどもクリニック)	照井 善明	有吉 光寛	江本 庸時
大坪 正弘(福岡船用品(株)・代表取締役)	田島 郁子	川手 艶子	水落 由里子
梅田 哲治(マンダリンマーケット)	中牟田 康	宗崎 良太	寺岡 由郁
山川 信夫((株)山川工務店・代表取締役)	柴田 幸子	南里 摂	東 かすみ
今村 寛(ワイン食堂LeCanon)	田中 音色	角沖 雄二	糸山 雪子
	ニシ カナコ	川邊 いづる	紫牟田 美佐
【物品寄付】	宮本 裕美	和久井 潔	イシバシ シンイチ
IKEA福岡新宮店(IKEA Family募金)	篠原 節子	岡本 幸子	フジヤマ カナエ
花王株式会社 社会貢献部	徳永 明子	新福 宏一	ナガシマ ユウキ
福岡リハビリライオンズクラブ	澤中 一恵	櫻井 和子	渡邊 裕子
ソロプチミスト福岡ー東 有志一同	松尾 充子	一宮 澄江	副島 慶子
清水 康子(「ひとつ」の会)	福田 祥子	青木 扶美子	高原 弘樹
鯉川 真理	石川 智栄子	青木 由香里	加藤 友徳
中牟田 享・淑子	池島 光彦	谷内 真由美	宮本 千賀子
山中 清香	桶谷 恵子	平元 克典	岩崎 カヲル
三室戸 多美子	徳永 和夫	藤本 登志子	長岡 彰子
八木 有江	原田 由子	清原 英明	中村 一美
青木 隆雄	オルソン 千秋	川原 正孝	梶原 信子
	小田部 荘司	澁田 あい子	柴田 ゆかり
【助成金】	清水 佳香	三宅 昭代	片岡 浩一
毎日新聞西部社会事業団	中宮 三佐子	深見 直子	
	和田 明美	竹口 茜	
	野沢 恵美子	岡本 里美	
	小林 由美子	和栗 聡	

この他、匿名の方からもたくさんのご寄付をいただきました。

また、ミールプログラムにつきましても多くの方からご支援、ご協力をいただいております。

詳しくは5ページをご覧ください。

活動報告

IKEA様より家具、小物などをご提供いただきました。



IKEA様の取り組みの詳細やお部屋の写真をレポートで公開しています。



福岡新宮店のスタッフの皆様には家具のセレクト、レイアウトからハウスでの設置までご協力をいただきました。



装飾にも気を配っていただき、おしゃれで素敵なお部屋になりました。収納なども機能的で、リラックスして過ごせる空間になりました。



2023/9/3 レモネードスタンド

毎年博多駅で開催されているレモネードスタンドinふくおかに共催として参加しました。多くの皆様からご支援をいただきました。



様々なメディアに取り上げていただきました。

テレビ(KBC、TNC)
西日本新聞

テレビで放送された内容はホームページの「NEWS」から動画でご覧いただけます。



2023/11/19 まつり古賀

バザーとレモネードスタンドを出店しました。



2023/11/24 ハウス大掃除

ボランティアさん20名にご協力いただき隅々までピカピカになりました。



ミールプログラム

ハウスを利用しているご家族へ月に1度、ボランティアさん15～20名ほどで50食ほどの手作り弁当をお届けしています。いずれは、病棟で付き添っているご家族の皆さんに届けられればと思っています。



毎月、たくさんのご家族から嬉しいご感想をいただいております！

付き添い中なかなかたいした物が食べられないけど、この支援を受け久々にあたたかい温もり、そして久々に美味しいと感じられる事ができ、元気を頂きました。
大変な事だと思いますが、淒く励みになる活動で感動致しました。

1人で宿泊しているため、インスタントやレトルトで済ませることが多く、娘の術後で不安でいっぱい、暗い気持ちになっていたのですが、久しぶりの彩り豊かな食事に、お腹も心も満たされました。ありがとうございました。

家族と離れ一人で摂る食事でもコンビニ中心となる中、心のこもった食事を提供頂き本当にありがとうございました。とてもおいしかったです。改めて食事の大事さを感じました。まだまだ入院は続きますが、しっかり食べて頑張ります！

多くの企業、団体や個人の皆様からお米、野菜、デザートなどご寄付いただいております。 ※敬称略

【支援金】(一社)グリーンコープ生協ふくおか・福祉活動組合員基金
福岡博多みらいライオンズクラブ

【食材提供】株式会社ケアリング 夜宮珈琲倶楽部 あたか農園
有限会社さくら館 穴戸農園 NPO法人キープ・ママ・スマイリング
ドナルド・マクドナルドハウスふくおか お多福餅本舗

徳永和夫 松永望 北川勝喜 高原弘樹 中牟田亨 森純子
飯尾貞子 松尾悦代 林肇 船越祥代(茜屋) 高原護

【包装容器提供】柴田澄代(株式会社シバタ・代表取締役社長)



皆様の温かいご支援により栄養満点のミール支援が継続できています。感謝申し上げます。

利用者様の声

ハウスの感想ノートに寄せられた利用者様の言葉をご紹介します。
※プライバシー保護のため一部を改変、加工しております。

広島県から来ました。昨年(R5)10月から子供が九大病院に入院が決まり福岡に来ましたが、知らない土地、知らない人ばかり…不安だらけでした。涙を流す日々も続きました…。

子供の病気は「副腎白質ジストロフィー」の「小児大脳型」。進行性のまだ研究中の病気です。ずっと元気だったお兄ちゃんが小学2年生で発症し、進行が早く何もしてあげることが出来なかった…。それと同じ遺伝子異常を弟も持っている事がわかり、早期発見、治療をする事が出来ました。10月に入院し移植前処置(化学療法)、造血幹細胞移植。この治療をしても進行が止まる可能性、進行が遅くなる、最悪は進行が止まる事がない…いずれかです。

でも、止まる可能性にける!!その希望をもって入院しました。

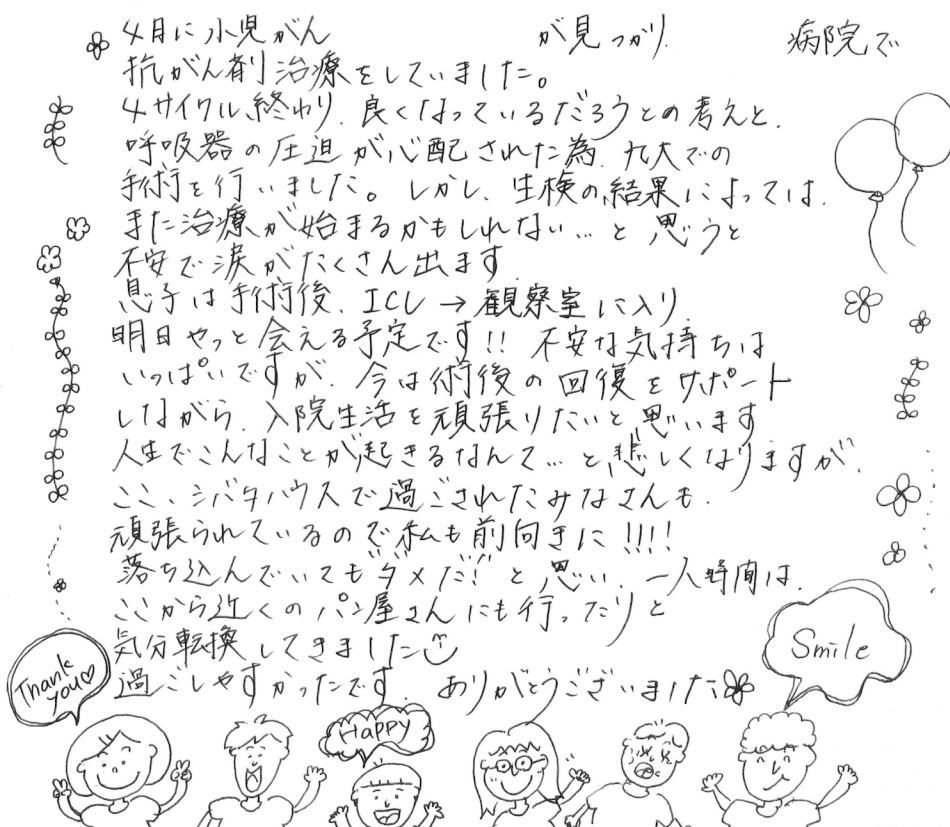
入院中は私と主人で付きそいを交代しながらの生活でした。その中でこのファミリーハウスの事を知り何度か利用させていただいています。付きそい交代の時、お正月に子供の外泊許可が出て、数ヶ月ぶりにお姉ちゃんと会えて家族で過ごす時間、そして今回は4ヶ月の入院生活を終えての退院です。

退院してすぐ帰るとするのは環境の変化が子供に影響するのでは…?と少し不安があり、2泊して帰る事にしました。「退院して何が食べたい?」と聞いた時、「オムレツ食べたい!!」と子供が言ったので、ここで作ってみんなで食べました。調理も出来る設備があるし、食器もそろっていて、家のように過ごしました。みんなで布団をならべでゆっくり休む事が出来ました。

ファミリーハウスでは自宅に帰る練習をさせていただく事も出来て、安心して過ごせます。そして、長期入院と通院、遠方からだと経済的な負担は大きいです。このようなファミリーハウスの存在はとてもありがたく感じます。これからも通院等で利用させていただきたいと思います。

ファミリーハウスの方、いつもありがとうございます。

これからもよろしくお願い致します。(母親)



かわいいイラストも
描いていただきました!

ご寄付・ご支援のお願い

オンラインでご寄付いただけるようになりました！

公式ホームページから、ご寄付および賛助会員への入会を受け付けております。

1. 公式ホームページの「ご支援のお願い」を選択

または、こちらのQRコードを読み取ってください。



2. 「詳細をみる」を選択（外部サイトに移動します）

3. 必要事項を入力し、お申し込みください。

お支払いは銀行振込の他、クレジットカード決済も可能ですのでご自宅などからいつでもお申し込みいただけます。

認定を取得するためには、100名以上の方が賛助会員に入会していることが条件となります。認定を取得できれば税制上の優遇措置が受けられるなど、様々なメリットがあります。
この機会にぜひ、賛助会員へのご入会をお願いいたします。



郵便振替でも受け付けております。※2024年より振替口座が変わりました。
同封の払込取扱票（振込用紙）にご住所とお名前、金額をご記入ください。

決算報告

NPO法人福岡ファミリーハウス

活動計算書

自 2023年12月11日 至 2024年 3月31日

（単位：円）

（NPO法人）

科目	金額		
I 経常収益			
1 受取会費			
2 受取寄付金		185,500	
経常収益 計			185,500
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
人件費計			
(2) その他経費			
支払手数料	210		
その他経費計	210		
事業費 計		210	
2 管理費			
(1) 人件費			
人件費計	0		
(2) その他経費			
事務用品費	23,758		
租 税 公 課	1,250		
その他経費計	25,008		
管理費 計		25,008	
経常費用 計			25,218
当期正味財産増減額			160,282
前期繰越正味財産額			0
次期繰越正味財産額			160,282

SHIPS活動報告

福岡ファミリーハウスの力強い応援団、SHIPSの皆様に今年度もご協力をいただきました。

2023/7/22 古賀市土曜夜市
 2023/8/4 古賀市エコロ夏祭り
 2023/11/26 古賀市わくわくフェスタ
 2023/12/3 こがクリスマスマーケット



(SHIPS代表・東條恵美様より)

今年は、嬉しいことにスタッフが増えました。みんなで協力しながら毎月のフリマ出店を基本に、色々なイベントで射的、食品バザー等を行っています。最近TVの反響も大きく、フリマ会場でお客さんから寄付のご相談やハウスに飾ってくださいと可愛い手作り品を頂く事も増えました。ファミリーハウスの理解者が少しずつ広がっていることを感じています。

事務局就任あいさつ

山本 芙優

この度、NPO法人福岡ファミリーハウスの事務局を担当させていただくことになりました山本芙優です。私は今から16年前、9歳の時に急性リンパ性白血病と診断され、9ヶ月間の入院治療を経験しました。薬の副作用と検査の痛みは辛かったですが、同じ病棟の友達や病院スタッフに恵まれ、楽しいこともたくさんありました。ただ、病棟にはシャワーしかなくお湯に浸かれなかったことと、母の手料理が毎日食べられなかったことだけは残念でした。病気になった本人はどうしても家族の苦勞を知ることはできないのですが、交代で24時間付き添っていた両親は本当に大変だったのだと思うと思います。利用者様からいただいた感想も読ませていただき、改めてファミリーハウスは闘病中でもご家族みんなが当たり前の日常生活を送っていくために、絶対に必要な施設だと思いました。私は2年前まで、小児がんの子どもたちの未来を守りたいという思いから大学院でがん免疫療法について研究をしていました。しかし、治療の影響で筋力低下など様々な合併症が出てきてしまい、研究を続けることが難しくなりました。思い描いていた夢が消えていく苦しみの中、代表からお誘いをいただき、自分にできることがまだあるならと思い挑戦を決意しました。ハウスを通して、もっとたくさん子どもたちの未来を守りたい。生きている間は楽しいことがたくさんあることを伝えたい。新しい夢を叶えるためにいろいろなことを学び、少しずつですが前に進んでいきたいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。

